

記入例（新願畜の場合）

種畜検査申請書

令和〇〇年〇月〇日

独立行政法人家畜改良センター理事長 殿
（都道府県が実施する臨時種畜検査の場合は、都道府県知事あて）

飼養者 住所 〇〇県〇〇〇郡〇〇村〇〇番地
氏名又は名称 〇〇 〇〇

押印不要です

家畜改良増殖法第4条第1項の規定により下記の家畜について種畜検査を受けたいので、申請します。

記

1 名前 ××××

（家畜登録機関名及び登録番号） 全国和牛登録協会 黒××××

2 種類及び品種 肉用牛 黒毛和種

3 毛色 黒

4 特徴 例1：0123456789



特徴は下記について記載します
牛：個体識別番号
馬：白徴、旋毛の名称、入墨又は烙印の位置及び記号・番号、マイクロチップ番号
豚：入墨又は耳標の記号・番号、耳刻の位置（豚図に図示）

5 生年月日 令和〇〇年〇月〇日

6 産地 〇〇県〇〇〇郡〇〇村

産地は県から郡市町村名まで記載してください

7 血統
父 〇〇〇
（全和黒××）
母 □□□
（全和黒△△）

祖父 〇×〇
祖母 ×〇×
祖父 □△□
祖母 △□△

8 その他

本申請書に記載されている種畜の家畜人工授精用精液は、日本国外への持ち出しを禁止する。

備考

（日本産業規格 A4）

- 1 現に種畜証明書の交付を受けている場合にあつては、記の1に当該種畜証明書の番号を記入すること。この場合には、2の種類及び品種から7の血統までを省略することができる
- 2 牛については、特徴の欄に個体識別番号（牛の個体識別のための情報の管理及び伝達に関する特別措置法第2条第1項（平成15年法律第72号）の個体識別番号をいう。）を記載すること。
- 3 8のその他には、当該家畜から採取された家畜人工授精用精液に係る使用する者の範囲又は使用の目的に関する制限を記載することができる。

記入例（継続畜の場合）

種畜検査申請書

令和〇〇年〇月〇日

独立行政法人家畜改良センター理事長 殿
(都道府県が実施する臨時種畜検査の場合は、都道府県知事あて)

飼養者 住所 〇〇県〇〇〇郡〇〇村〇〇番地
氏名又は名称 〇〇 〇〇

押印不要です

家畜改良増殖法第4条第1項の規定により下記の家畜について種畜検査を受けたいので、申請します。

記

1 名前 ××××

継続畜の場合も、名号と登録番号を記入してください

(家畜登録機関名及び登録番号) 全国和牛登録協会 黒××××

(種畜証明書番号) △△△△△

2 種類及び品種

3 毛色

4 特徴

継続畜の場合、
2の種類及び品種から7の血統までの
記載を省略することができます

5 生年月日

6 産地

7 血統 { 父 (登録番号)
母 (登録番号)

{ 祖父
祖母
祖父
祖母

8 その他

本申請書に記載されている種畜の家畜人工授精用精液は、日本国外への持ち出しを禁止する。

備考

(日本産業規格 A4)

- 1 現に種畜証明書の交付を受けている場合にあつては、記の1に当該種畜証明書の番号を記入すること。
この場合には、2の種類及び品種から7の血統までを省略することができる
- 2 牛については、特徴の欄に個体識別番号（牛の個体識別のための情報の管理及び伝達に関する特別措置法第2条第1項（平成15年法律第72号）の個体識別番号をいう。）を記載すること。
- 3 8のその他には、当該家畜から採取された家畜人工授精用精液に係る使用する者の範囲又は使用の目的に関する制限を記載することができる。